

令和4年度
甲府市立相川小学校

校内研究会のあゆみ

研究テーマ

今日的課題に対して、実践的に学ぶ
教員の力量形成をめざして

目次

- 1 概要
- 2 第一回校内研究会
- 3 第二回校内研究会
- 4 第三回校内研究会
- 5 第四回校内研究会
- 6 第五回校内研究会
- 7 第六回校内研究会
- 8 第七回校内研究会
- 9 第八回校内研究会
- 10 第九回校内研究会
- 11 第十回校内研究会

相川小学校

研究テーマ「今日的課題に対して、実践的に学ぶ教員の力量形成をめざして」

1 研究の概要

本校では、一昨年度から「課題解決トピック型の研究会」を行ってきた。校内研究会の時間は、私たち教員自身が今後の授業に生かせる、明日からでも授業に使える時間にしたらどうかとの理由からである。昨年度のアンケートからもこのような形を継続していくことが確認された。その中で、山梨県の教育重点の中に貫くようにして位置づけられている「学級経営の充実」に関わる研修を中心に行うこととした。しかし、ここ3年間は授業観察や指導案の練り上げ方について学習機会がなかったことが、課題であったので、本年度は甲府市の初任者研修授業研修会実習校となっていることから、秋に行われる授業研修会に向けた指導案検討の時間を校内研究会の中に取り入れた。また、子供たちの「確かな学力の育成」の取組の一環として、本校の家庭学習の充実をさらに図るために「パワーアップ作戦カード」の取り組み方の改善も校内研究会の中で行った。

2 主な実践内容

- 6月 水泳指導（講師：戸澤智紀先生）
- 7月 Kickstart Program アドバンス研修（講師：Google 事務局）
- 8月 学級経営に生かす教育相談（講師：内藤雅人先生）
- 8月 初任者研究授業研修会における指導案検討（小澤彩子先生・藤巻良輔先生）
- 10月 主体的・対話的で深い学びの実現と学力向上～算数の学習を中心として～
(講師：清水宏幸先生)
- 11月 1人1台端末の活用機会をさらに広げるために（講師：桐山賢一校長先生）
- 1月 今年度の校内研究会の反省
- 2月 来年度の方向性について

3 成果と課題

- コロナ禍になって初めての水泳指導で、児童も水泳の基礎を知らない中での指導なので実際の水泳指導方法を具体的に教わり、すぐに実践に生かせるものとなった。（水泳指導）
- 自分のクラスのQUを実際に見ながら、QUの活用法を学べてよかった。（学級経営）
- 算数科でどのように指導すべきか悩んでいたところをしっかりと解決することができたので、教科の専門の先生に話を伺える機会がとても貴重でありがたかった。（学力向上）
- 現在進行中の喫緊の課題なので、児童に提供できるものを学ばせていただいた。プログラミング教育の3つの目的から離れないように活用していきたい。（1人1台端末の活用）
- △指導案検討で意見交流を行うことは、学びが多く有意義であると改めて感じた。授業を基盤とした研究は設定すべきだと思った。

上記のような成果と課題を踏まえて、今後も実践的に学ぶ姿勢を大切に、子供たちと共に笑い合い、喜び合い、成長していく教員集団でありたいと思う。（文責 村松 宏美）

第1回校内研究会

場所, 時間 相川小職員室 2022 (Meet) 15:50~16:50

今日的課題に対して, 実践的に学ぶ 教員の力量形成をめざして

- | | |
|---|-----------------------|
| 1 | はじめのことば (司 会) |
| 2 | 昨年度のふり返りと今年度に向けて (村松) |
| 3 | 連絡 |
| 4 | おわりのことば(教頭) |

○昨年度のふり返りと今年度に向けて

【昨年度のふり返り】

履歴シートに書かれた研修の感想や疑問点などをまとめました。本来であれば、疑問点を基に、研修を深めたり、講師の先生方から再度指導をいただいたりする予定でした。しかし、中止や延期が続き、計画的な研究会を行うことができませんでした。

- ① 「Chromebook」の基本的な操作・使い方のきまり
 - ・教員全体で基本的な操作や使い方のきまりの確認することができた。しかし、教員によって操作の得手不得手があるため、分からないことが多く不安を感じるところもあった。どういう場面で端末を活用していけばよいか積極的に試して、子供たちと学ぼうと感じた。
- ② ペッパーを活用したプログラミング学習【アイやまなし人材育成】
 - ・自分が作った通りにペッパー君が動くので、とても楽しかった。プログラミング学習では、「楽しさ」「面白さ」「不思議さ」が大事だと思った。試行→思考→試行を繰り返していく過程がまさしくプログラミングだと感じた。6年生が学習している様子を見て、相川の子供たちの技能の高さに驚いた。自分も資質を高めていかなければと思った。
- ③ 学級経営～学級づくり～①【高橋英児先生】
 - ・他の学級の先生方も似たような悩みをもっているとわかり、よかった。なかなか他学年の先生方と話をする機会がもてなかったのでよかった。小グループでの話し合いの時間がもっとほしかった。子供との関わりのなかで、「愛をもって今は諦める」ことで冷静になることの大切さを学んだ。「Q-Uがすべてではない。担任が見えている目の前の子供の姿がきっと正しい。」だからこそ、心の奥底に潜んでいるかもしれないものをQ-Uでうまく見取り、うまく活用していくべきだと思った。
- ④ 学級経営に生かす教育相談【内藤雅人先生】
 - ・アドラー心理学によるIメッセージを多用してみたいと感じた。褒めることが「上から目線」とは思わなかった。また、言葉の裏側に目を向けることの大切さを実感し、自分の学級で子供たちの言葉をしっかりと聞きたいと思った。
- ⑤ GIGAスクール構想推進に関わる講義及びClassroomの活用実践
【山主公彦指導主事】
 - ・ICTの活用について自身をもっと使いこなすためには、とにかく試してみることが大事だと感じた。ルールを徹底して児童の学びを深める手段として、様々な場面で使えるようにしていきたい。様々な実践事例を知り、実際に試してみたかった。

⑥ 学級における心理的安全性と笑い【FUNBEST オシエルズ】

- ・笑いの大切さ、学級経営の大切さを学んだ。いじることと、いじめることの違い、本人はそう思っていなくても相手を傷つけてしまうことがあること、など今後の学級経営の参考になった。様々な活動を通して、まずは子供の思いを受け止めることが重要だと感じた。自分の思いを受け止めてもらえるという安心感が子供たちの心の解放につながる。まずは、教師自身が「最高の観客」でありたい。私が苦手で足りない資質は「教師はパフォーマー」であることだと思っている。しかし「教師は最高のオーディエンス」であることは実践できると感じた。「肯定」される気持ち、「否定」される気持ちを実感できた。笑いがある学級でありたいが、児童を傷つけないよう配慮していきたい。

【アンケート結果】

昨年度末に、次年度への方向性に向けてアンケートを行いました。アンケートを踏まえて、校長先生・教頭先生・教務主任・副教務主任と1年のまとめと次年度の引き継ぎ事項を話し合いました。

本年度は、研修会中心の校内研でした。今日的な課題に向き合い、見識を広げる内容でしたが、その後の教育活動にどのように生かされたでしょうか。具体的に今年の成果や課題をあげてください。

- ・新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、校長として教職員に校内研究会を通して経験させたいこと、出会いをさせたい人に制限がかかってしまい、十分なことができませんでした。また、60分きっかりで終えられない時もありましたが、研究主任を中心に熱心に取り組んでいただきました。時間については、来年度、検討してください。研究主任起案の「校内研究 履歴シート」は、良い取組でした。個人的には先生方の記述が大変に参考になりました。
- ・いろいろなカテゴリーについて小出しに体験できたことが有意義でした。日常の業務に負担がなく、またすぐに実践でき、今日的な課題である多忙化解消にもなりました。
- ・研修講座制の研究会は、「今必要なこと」なことをダイレクトに学ぶことが出来、すぐに使えることが魅力的でした。

○学級経営を中心に、校長先生に私たちが課題としていることを見据えた講師を紹介、招集していただきました。すぐに使えることができる、有意義な研究会を行うことができたことは、成果でした。

◇多忙化の解消のため、60分と時間を制限しましたが、ペッパー君のプログラミングや高橋先生や内藤先生のワークショップ・先生方との意見交流では、もっと時間が欲しかったとの意見も多くありました。長時間にならない取り組みは大切ですが、弾力的な時間の使い方が課題となりました。

従来の研究授業を中心とした「仮説検証型」の研究会ではなく、「課題解決トピック型」の校内研は、多忙化やコロナ禍での研修会のあり方を提案するものでした。H30 とR元は「外国語の仮説検証型」、R2とR3は「課題解決トピック型」を行いました。来年度はどちらの形式で行った方がよいと思いますか。それは、なぜか理由もお書きください。

- 「仮説検証型」(1)人
- 「課題解決トピック型」(14)人

<「仮説検証型」のよい理由>

- ・コロナ禍の授業のあり方を研究することで、今後の授業を模索することができるだろう。

<「課題解決トピック型」のよい理由>

- ・仮説検証型は、仮説設定・概念規定に時間がかかります。仮説ができた時点で研究脳結論はある程度、把握できます。現場の研究には適していました。でも、時間がかかります。次に、課題解決トピック型の校内研究会であっても、共同指導案作成による授業研究会は絶対に必要だと思います。授業観察の正しい方法、ワークショップ型研究会の正しい方法などを学ぶことが必要でしょう。特に経験年数の少ない教員の力量形成には不可欠な営みです。
- ・今、そのときに研修が必要なこと、知りたいこと、手立てなどを研修することができました。よい方法だと思います。ただし、指導案から練り上げ、授業をすることも、大切だと思います。校内研としてではなくても、そのような機会は1年に1回は必要だと思います。
- ・課題解決トピック型でタイムリーな話題を解決したり、教員個々の専門分野を学び合う場として利用したりできるのではないかと思います。
- ・課題解決トピック型の方が、今日的な課題に取り組むことができ、すぐに実践に生かして良いと思いました。

○プログラミングやクロムブック、学級経営など、タイムリーな話題のトピック型は有効で、成果となりました。

◇一方、年間を通して、授業観察や指導案の練り上げ方について学習機会がなかったことが、課題として上げられています。相川小学校では、四年前、2カ年計画で全小英の公開授業がありました。二年前から、今年度のような「課題解決トピック型」の研究会を行っています。近年、国語・算数といった全学年を通し、授業時数の多い教科の授業観察や指導案作成が行われていません。経験年数の少ない教員も増えているため、毎日行う教科の授業にじっくり向き合う機会を作ることも大切なのではないのでしょうか。

来年度の校内研究会で取り組んでみたい内容がありましたら、具体的に書いてください。

- ・先行研究を掘り起こす時間を勤務時間内に確保してもいいのではないのでしょうか。
- ・課題解決トピック型と併用して、お互いに気軽に授業を参観し合える機能を校内研に取り入れたらいいと思いました。(2)
- ・トピック型にするのであれば、お話を聞きたい講師の希望をとってみるのもいいと思います。

<来年度への申し送り事項>

- 基本的には、研究会は60分とし、研究内容によっては弾力的に時間を設定する。
- 来年度、相川小学校は、甲府市教育実習校の指定校。全4回のうち、3回はブロックでの授業提案(道徳と他2教科)を行う。その中で、授業を見合ったり、指導案を共同で練り上げることを通して、教員同士の力量を高めていく。
- 積極的な授業参観を取り入れる。

【今年度に向けて】

本校では、一昨年度から「課題解決トピック型の研究会」を行ってきました。学習指導要領の改訂に応じた教科書・教材の刷新を受けて、校内研究会の時間は、私たち教員自身が今後の授業に生かせる、明日からでも授業に使える時間にしたらどうかとの理由からでした。昨年度のアンケートからもこのような形がよいとの結果が出されました。

「確かな学力の育成」「豊かな心の育成」「健やかな体の育成」を貫くものとして「学級経営の充実」が指導重点に位置付けられています。教師と児童との信頼関係及び児童相互のよりよい人間関係を育てる土台となる、学級や学年集団作りの取組を大切に、児童一人一人のよさや可能性を十分発揮できるよう務めることが大切だと言われています。今年度も、学級経営に関わる研修会を取り入れていきたいと思えます。

しかし、授業観察や指導案の練り上げ方について学習機会がなかったことが、課題として上げられました。そこで、本年度は甲府市の初任者研修授業研修会実習校となっていることから、秋に行われる授業研修会に向けた指導案検討の時間を校内研究会の中に取り入れたいと思えます。

最後に、家庭学習の充実として、「パワーアップ作戦カード」の取組を毎学期に1週間程度行ってきました。毎年、山梨県教育委員会が作成し配布される「家庭学習連絡ファイル」を活用し、「確かな学力の育成」の取組の一環として平成26年度以前から行われている取組のようです。昨年度は、校内研究会の中での確認がないままに、取組を継続してきてしまいました。山梨県教育委員会からのファイルの配布も、1年生のみとなり、取組方の改善が必要だと考えます。先生方からのご意見も取り入れながら、本年度の相川小学校としての取り組み方を考えていきたいと思えます。

回	月日	曜	ジャンル	内 容
1	5月18日	水		昨年度のふり返りと今年度に向けて
※1	6月10日	金	初任者研修	初任者研修授業研修会【校長先生】
2	6月15日	水	水泳指導	3年ぶりの水泳指導【講師：戸澤智紀先生】
※	7月6日	水	特別支援教育	校内特別支援教育研修会（予定）
※2	7月8日	金	初任者研修	初任者研修授業研修会【鈴木先生】
3	7月22日	水	ICT研修	Google コア研修会 Kickstart Program
4	8月22日	月	学級経営	学級経営に生かす教育相談【講師：内藤雅人先生】
5	8月23日	火	指導案検討	指導案検討【彩子先生・藤巻先生】
6	9月7日	水		校内特別支援教育研修会
7	10月5日	水	学力向上	「深い学び」について【清水宏幸先生】
※3	10月21日	金	初任者研修	初任者研修授業研修会【藤巻先生】
8	11月16日	水		
※4	11月18日	金	初任者研修	初任者研修授業研修会【彩子先生】
9	1月11日	水		
10	2月15日	水	まとめ	今年度のふり返りと来年度に向けて

【今年度の方向性】（案）

- ①「課題解決トピック型の研究会」を行う
（6～9の内容については、先生方からアンケートを取り内容を検討する）
- ②授業研修会に向けた指導案検討の時間を校内研究会の中に取り入れる
- ③家庭学習の取組を再検討する

今年度も、校内研究会の時間がすぐに実践に生かせる内容となりますよう、先生方のご意見を取り入れながら、計画を進めていきたいと思えます。ご協力をよろしく願います。

2022. 6. 15 (水)

相川小

第2回校内研究会

・場所、時間 相川小学校プールサイド

(雨天：体育館) 15:50～16:50

・司会・記録 5年生

今日的課題に対して、実践的に学ぶ 教員の力量形成をめざして

- 【1】はじめのことば (司会)
- 【2】校長先生の話と講師の紹介
- 【3】水泳指導について (戸澤先生)
- 【4】連絡 (村松)
- 【5】おわりのことば(教頭)

【今日の研究会

プール開きがあり、いくつかの学級はすでにプールの学習が行われました。3年ぶりのプール開催となり、子供たちもわたしたち教員も不安があるため、戸澤智紀先生を講師にお迎えし、水泳の指導方法について講義をいただきましたと思います。事前に先生方からお聞きした不安点や講義についての要望を戸澤先生にお伝えさせていただきました。

天候によって、講義場所が変わりますので、ご承知おきください。

- ・雨の場合には、体育館にて講義形式で行います。その後プールに移動して、戸澤先生が入水しながら説明をさせていただきます。(事前に傘を体育館までお持ちください)
 - ・曇り等、プールサイドでできる場合には、4名の先生方に児童役になってもらいながら、戸澤先生に実践的な指導を講義いただきます。
- どちらの場合にも、**先生方は動きやすい服装でご参加ください**。また、天候がよくお願いしている先生方以外にも、入水して実践したい先生がいらっしゃいましたら、入水できる服装でご参加ください。入水予定の先生方には、各自で申し訳ありませんが事前に準備運動をしっかりと安全にご参加いただきたいと思います。よろしくお願ひします。

【連絡】

① 次の校内研究会について

7月6日(水)に予定されている「校内特別支援教育研修会」の講師を要請していますが、講師の都合で変更になる場合は、9月7日(水)の校内研究会と入れ替えて、「パワーアップ作戦」についての検討を行いたいと思います。

② 10月以降の研究会について

具体的な講師を紹介していただき、ありがとうございました。先生方のアンケートを元に、今の課題に沿った講師が招聘できるよう調整していきます。

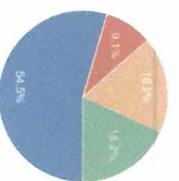
③ パワーアップ作戦について

先日のアンケートの結果は以下の通りです。家庭学習の取組の大切さを感じている先生方が多くいましたので、相川小学校として、今年度も「パワーアップ作戦」を継続していきたいと思えます。しかし、課題点も多く挙げられています。内容についても一度見直し、全校で共通理解を図った上で実施していきたいと思えます。

昨年度まで毎学期に行っていました。今年度は2学期以降に実施期間についても検討しながら、行っていきます。

②「パワーアップ作戦」についてのご意見をお聞かせください。

11月の結果



● あつた方がいい
● なかくもない
● 悪くはない
● 悪くはないが、もう少し
● その他

<p>①今年度、「こんな研修を受けてみたい。」「この講師の語が聞きたい。」「こんなことに悩んでいる。」など、9月以降の研究会で取り上げてほしい内容を教えてください。</p>	<p>③ ②答えた理由や方法について教えてください。特に、3の違う方法については、他校での実践など具体的に書いていただけるとありがたいです。</p>
<p>オンラインズ</p>	<p>紙ベースではなく、タブレット端末の宿題に移行していくとよい。</p>
<p>学級経営</p>	<p>交流することができるから。</p>
<p>学級経営 様々な特性を持つ児童への対応の仕方・コロナ禍の体育の仕方・クロームツクの活用 など</p>	<p>ご家庭との連携がとりやすいため。 日常的に自学をしない(できない)児童が自学をできるよい機会だから。</p>
<p>授業づくり(発問や課題設定、児童の意見の返し方や、板書へのまとめかた)について改めて学ぶ機会があると嬉しいです。</p>	<p>読書も入っていましたが、読書は入れなくても良いのではと思います。指導しましたが、高学年でも結局、読書しきれない児童がおり、せつかくの取り組むのであれば、しっかりと学習させたいと思います。</p>
<p>道徳について学習したい。子供たちが思考し、交流する中で深められる授業について。</p>	<p>国母では3年生以上が毎日行っていました。しっかりと取り組む児童は、授業で学んだことから疑問を見つけて進んで調べたり、復習や予習をしたり回を重ねるごとに、内容の濃いものになっていきました。でも、まるつけが負担でした。</p>
<p>困っている児童、一斉指導が難しい子どもたちへの指導について具体的に聞きたい</p>	<p>実施するのであれば、目的や内容を精選し、全校で共通理解のもとに行うと良いと思います。</p>
<p>プログラミングについて</p>	<p>子どもたちの様子を見ていると回数を重ねることに、質が向上していると感じました。</p>
<p>不登校に関わる研修 鶴田清司先生 (国語科) 菊池省三先生 (学級経営)</p>	<p>パワーアツク作戦の期間を、クロームツク持ち帰りでオンラインラーニング学習をする期間とする。</p>
<p>算数の「めあて」「問題」の違いを教えてください。どちらが先なのでしょう。また、毎時間「めあて」が必要なのでしょうか。自分自身よくわからず悩んでいます。この年になってすみません。</p>	<p>その他ではないのかもしれませんが… 前任校では、10ミリ方眼のノートを自学ノートとして全員に用意してもらいました。そして、クロームツクごとにこんな自学がありますという内容を家庭に提示しました。また、学年によっては、自学を宿題に出したりもしました。また、全校の取組として、「家庭学習ががんばり表」を配付し、毎日家庭学習の時間と内容を記述し、毎週月曜日に提出となっていました。 相川のようにパワーアツク週間という期間を決める方法も、リハビリが付いてよいと思います。</p>
<p>特にありません。</p>	<p>実態として、具体的に何をすればよいのか、なぜ自学をするのかを理解していない児童もいて、指導も学級・学年でバラバラだったかと思えます。教員での確認・共通理解をした上で年度初めに自学を勧める意味で短期的に実施するのであればよいと思います。</p>

第3回校内研究会

- ・場所、時間 15:50～16:50
職員室→各ブロック（低：2-1・中：4-1・高：6-1）
- ・司会・記録 4年生

今日的課題に対して、実践的に学ぶ 教員の力量形成をめざして

- 【1】今日の予定とパワーアップ作戦について
- 【2】連絡 (村松)
- 【3】各ブロックで集まり内容検討

【今日の研究会について】

本校では、26年度以前から毎学期に1週間程度の自主学習強化週間として「パワーアップ作戦」を行ってきました。山梨県学校教育指導重点の「確かな学力の育成」を家庭と学校とが連携して、自ら進んで学習する習慣を確立することを目的として始められたようです。

しかし、2年前から特に内容の見直しや共通確認をすることなく取り組んでしまいましたので、もう一度先生方と内容の検討や共通理解を図りたいと思います。

初めに職員室にて、全員で検討する内容について確認します。その後、ブロックに分かれてさらに内容について細かく検討をします。その際、ブロックごとの話し合いの様子を確認したり、全体で共通理解したりできるように、2-1、4-1、6-1の様子をMeetでつなぎます。質問があったり、決まった内容を伝えたりしながら内容を検討したいと思います。それぞれのブロックの司会は、彩子先生、清水先生、村松が行います。よろしくお願いします。

<全体での内容検討>

①「パワーアップ作戦カード」の内容について

- 学習・体力・生活習慣を混ぜた内容となっているが、学習に重きを置いた内容にするか。
- ※現在は、山梨県教育委員会から出されている「学びの甲斐善八か条」を基に、体力向上や生活習慣についての項目があります。

②クロームブックの活用

- パワーアップ作戦期間中のクロームブックの活用について、期間中の持ち帰りやeライブラリーの課題をどうするか。
- ※昨年度の研究会で中止になってしまった、教育同人社のデジタルコンテンツを利用した教材について、研修会をもちたいと考えています。

③統一した自学ノートの用意

- 全員での取組を意識させたり、統一して指導を行ったりできるように、10ミリ方眼のノートを用意して、自学用のノートを用意する。
- ※学年によって市販のドリルがOKだったり、読書のみでもよかったりするようです。

<ブロック検討>

低学年ブロック	中学年ブロック	高学年ブロック
2-1	4-1	6-1
1・2年生の担任 校長先生 一美先生 饗場先生	3・4年生の担任 教頭先生 石川先生	5・6年生の担任 乙黒先生 浅利先生 平出先生

パワーアップ作戦についてのアンケート結果
紙ベースではなく、タブレット端末の宿題に移行していくとよい。
交流することができるから。
ご家庭との連携がとりやすいため。
日常的に自学をしない（できない）児童が自学をできるよい機会だから。
読書も入っていましたが、読書は入れなくても良いのではと思います。指導しましたが、高学年でも結局、読書しかならない児童がおり、せっかくの取り組むのであれば、しっかりと学習させたいと思います。
国母では3年生以上が毎日行っていました。しっかりと取り組む児童は、授業で学んだことから疑問を見つけて進んで調べたり、復習や予習をしたり回を重ねるごとに、内容の濃いものになっていきました。でも、まるつけが負担でした。
実施するのであれば、目的や内容を精選し、全校で共通理解のもとに行うと良いと思います。
子どもたちの様子を見て回を重ねるごとに、質が向上していると感じたため。
パワーアップ作戦の期間を、クロームブック持ち帰りでEライブラリー学習をする期間とする。
<p>その他ではないのかもしれませんが・・・</p> <p>前任校では、10ミリ方眼のノートを自学ノートとして全員に用意してもらいました。そして、ブロックごとにこんな自学がありますという内容を家庭に提示しました。学年によっては、自学を宿題に出したりもしました。また、全校の取組として、「家庭学習がんばり表」を配付し、毎日家庭学習の時間と内容を記述し、毎週月曜日に提出となっていました。</p> <p>相川のようにパワーアップ週間という期間を決める方法も、メリハリが付いてよいと思います。</p>
<p>実態として、具体的に何をすればよいのか・なぜ自学をするのかを理解していない児童もいて、指導も学級・学年でバラバラだったかと思います。教員での確認・共通理解をした上で年度初めに自学を勧める意味で短期的に実施するのであればよいと思います。</p>

【連絡】

① 次回の校内研究会について

7月22日（金）の校内研究会では、「Kickstart Program 研修会」を行います。このプログラムは、初めてICTを活用する先生方を対象としているものです。申し込みを行った当初よりも先生方が活用されている状況から、より活用を推進する研修会のプログラムが可能かを検討してもらっています。

本研修会を受講されたことのない先生方には、事前にプレ研修として、約1時間程度の研修会（オンライン研修）を受講していただき、受講完了後の小テスト（10問）に合格した修了証を持参の上での研修会となります。

学期末のお忙しい中で、大変申し訳ありませんが、よろしくお願いいたします。

② 授業づくりのヒント

総合教育センターより、全国学力・学習状況調査の調査問題を活用しての資料が届きました。学習のまとめの時間などにご活用ください。

第4回校内研究会

- ・場所、時間 各教室 9:00~12:00 12:45~15:45
- ・司会 村松

今日的課題に対して、実践的に学ぶ
教員の力量形成をめざして

- 【1】 はじめのことば
- 【2】 講師の紹介（校長先生）
- 【3】 Kickstart Program アドバンス研修
- 【4】 連絡（村松）
- 【5】 おわりのことば（教頭先生）

【今日の研究会について】

昨年度より、GIGA スクールの本格実施が始まりました。本校でも、昨年度には教育委員会から山主先生をお招きして、GIGA スクール構想について研修を受けました。相川小学校の先生方においては、ジヤムボードやカメラ機能、フォームを活用して授業をするなど、積極的に活用してくださっています。昨年度、情報主任が提案した「Chromebook の活用例」には、各学年の活用の様子がたくさん書き込まれ、参考にされた先生方もいらっしまったと思います。今日の研修会では、Google Workspace のアプリの活用方法について復習し、内容としては、先生方に Google Workspace のアプリを活用した授業案を考えていただくことがメインとなっているようです。2学期からの Chromebook のさらなる活用ができるよう、研修を行いたいと思います。

<グループ>

低学年ブロック	中学年ブロック	高学年ブロック
4-2	4-1	5-2
1・2年生の担任 校長先生 浅利先生 平出先生 ☆校長先生・武居先生	3・4年生の担任 乙黒先生 一美先生 饗場先生 ☆初鹿先生 ※Kickstart Program 講師	5・6年生の担任 教頭先生 石川先生 ☆鈴木先生

☆の先生方には、各グループの中で操作のサポートをお願いしたいと思います。

<持ち物>

- ・Chromebook
- ・各学年の教科書（ある方が授業案を作成する上で、より実践的な内容が考えられると思います。）

【連絡】

① 第5・6回の校内研究会について

第5回は、8月22日（月）の午後です。彩子先生と藤巻先生の指導案検討を行います。お二人の先生方には、申し訳ありませんが、10・11月に行う授業の指導案をご用意いただきたいです。よろしくお願いたします。23日（月）の9:00~は、内藤雅人先生をお招きして学級経営についての研修会を行う予定です。

※裏面にも連絡があるのでご覧ください。

※コアアプリ研修の動画視聴について

先日お知らせしました通り、7月22日（金）のKickstart Programのアドバンス研修を受講するにあたり、コアアプリ研修の動画を視聴するようにお願いします。全6編に分かれています。動画は全210分の内容とそれぞれに最終テスト（15問）があり、かなり盛りだくさんな内容になっています。

先生方には、使い方等ご存じ内容も多くあると思いますので、動画の隣の字幕を確認しながら、必要な部分を中心に視聴していただくとよいと思います。また、それぞれの〇〇編を視聴する前に、事前に最終テストの内容を確認してから視聴をするとよいと思います。テストは何度間違えてもやり直しても大丈夫です。正解をしてから提出のボタンを押すようにしてください。修了証を提出する必要はありませんが、アドバンス研修は、各アプリでできることを理解した上での研修内容となるようですので、ご視聴をお願いします。

学期末や夏休みになり、お忙しいところ申し訳ありませんが、よろしくお願いします。

※過去にコア研修を受講された先生方については、視聴の必要はないそうです。

第5回校内研究会

- ・場所、時間 **音楽室** 13:30~15:00
- ・司会・記録 4年生

今日的課題に対して、実践的に学ぶ 教員の力量形成をめざして

- 【1】はじめのことば
- 【2】講師の紹介（校長先生）
- 【3】「子どもが育つ学級経営」講師：内藤雅人先生
- 【4】質疑応答
- 【5】おわりのことば（教頭先生）

【今日の研究会について】

昨年度の校内研究会でも講師として講義をしてくださった公認心理師の内藤雅人先生に「子どもが育つ学級経営」について講義をしていただきます。

昨年度の先生方の振り返りから、「カウンセラーの基本的な姿勢（受容・共感・純粋性）を、子供だけではなく、保護者対応にも取り入れていきたい。」「『1メッセージ』＝私を主語とした話し方を心がけることで、子供がうける言葉の印象がだいぶ変わることが分かった。試していきたい。」「学級経営について、よくある場面を例に話していただいただけ、大変分かりやすかった。」と学ぶことが多かったとの感想がありました。同時に「もっとゆっくりお話が聞きたかった。」「エンカウンターの方について、もっと学びたい。」との声もいただきました。

今年度も2学期が始まる前に内藤先生からのお話を聞き、『教員も子供も毎日楽しいと思える学級作り』ができるためのたくさんのヒントをいただきたいと思います。今日の講義の中に、「Q-Uの結果を有効に生かす」というお話もしていただきます。本校でも1学期に実施したQ-Uの結果が戻ってきたようです。学級担任の先生方は、一度学級の様子を確認してから研究会に臨んでください。

＜持ち物＞

- ・「子どもが育つ学級経営」の資料
- ・筆記用具

【連絡】

- ① 8月16日に行われた甲教協研究推進委員会夏季研修会の中で、各校のICT活用の活用状況について情報交換を行いました。Jamboardに様々な学年の活用の様子が貼り付けられています。校長先生から提案された「1人1台端末の活用のためのチャレンジシート」への参考になるかもしれません。Classroomの相川小職員室2022にリンクを貼り付けましたので、ご活用ください。
- ② 甲教協の出欠について・・・8月1日（月）の部会・全体会と8月18日（木）の部会に欠席された先生は、村松の机の上にある欠席届に各自でご記入ください。明日23日（火）までにお願
いします。

第6回校内研究会

- ・場所、時間 各ブロック 9:00~10:30
- ・司会・記録 各ブロック

今日的課題に対して、実践的に学ぶ 教員の力量形成をめざして

- 【1】 連絡（村松）
- 【2】 各ブロックでの指導案検討（1時間程度）
- 【3】 パワーアップ作戦の内容・チェック項目の検討（30分程度）

【今日の研究会について】

- ① 初めに全体での連絡を行いたいと思いますので、Meetで各教室をつなぎます。それぞれの指導案について検討を行ってください。司会と記録は☆の先生にお願いします。1時間を目安にしてください。指導案検討後、第3回で行ったパワーアップ作戦の学習内容とチェック項目の検討をお願いします。（移動のタイミングについては、Meetで確認します。）指導案を検討するときのポイントについてですが、今回の授業は甲府市の初任者への師範授業になります。教科書の指導書に沿った内容で、甲府スタイルを意識した学習指導案を提示できたらよいと思いますので、それを踏まえての検討会をお願いします。

＜指導案検討グループ＞

国語ブロック	算数ブロック
場所は当日連絡	場所は当日連絡
教頭先生・浅利先生 饗場先生・平出先生 1・2年生の担任 清水先生・加賀美先生 ☆1年生の先生方に司会・記録をお願いします。	校長先生・乙黒先生 一美先生・石川先生 3・4年生の担任 小池先生・鈴木先生 ☆山下先生に司会をお願いします。 記録は村松。



- ② 第3回で検討していただいた各学年の学習内容とチェック項目について再検討をお願いします。ワンポイントアドバイスは保護者向けに配布する物なので、言い方も保護者向けになっています。**こんな学習をしてみよう!**については、作戦カードに印刷をして児童が参考にします。1・2年生のみ音楽的・体育的な内容を残しました。読書については、国語の取組に入れました。その他の内容は、各学年に沿うようにしたつもりですが、**各ブロックで確認して赤で訂正をしてください。**チェック項目は、**青枠が前年度**、**赤枠が今年度**のものになります。こちらも各ブロックで確認してください。訂正した物を村松までお願いします。

＜パワーアップ作戦検討グループ＞（彩子先生・清水先生には前回に続き、司会をお願いします）

低学年ブロック	中学年ブロック	高学年ブロック
場所は当日連絡	場所は当日連絡	場所は当日連絡
1・2年生の担任 校長先生・一美先生 饗場先生	3・4年生の担任 教頭先生・石川先生	5・6年生の担任 乙黒先生・浅利先生 平出先生

＜持ち物＞

- ・学習指導案（彩子先生と藤巻先生のもの2種類）・甲府スタイルの授業
- ・ワンポイントアドバイスやチェック項目の資料

第7回校内研究会

- ・場所、時間 音楽室 15:50~16:50
- ・司会・記録 2年生

今日的課題に対して、実践的に学ぶ 教員の力量形成をめざして

- 【1】はじめのことば
- 【2】講師の紹介（校長先生）
- 【3】「主体的・対話的で深い学びの実現と学力向上」
講師：清水宏幸先生
- 【4】質疑応答
- 【5】おわりのことば（教頭先生）

【今日の研究会について】

先生方においては、各自「甲府スタイル」

<持ち物>

- ・BOXに入れた資料
- ・筆記用具

【連絡】

- 1 パワーアップ作戦へのご協力をありがとうございました。終礼でもお伝えしましたが、パワーアップカードは担任の先生方が保管してください。3学期の期間は、北東中学校の中間テスト（2月14日）に合わせて2月6日（月）～10日（金）に行いたいと思います。近くになりましたら、またお知らせを配布します。期間は終わりましたが、家庭学習の習慣をつけるため、これをきっかけに自学をすすめていただきますよう、お願いします。

第8回校内研究会

・場所、時間 4年1組・2組教室 15:50～16:50
 ・司会・記録 村松

今日的課題に対して、実践的に学ぶ 教員の力量形成をめざして

- 【1】はじめのことば・講師の紹介
 【2】 「1人1台端末の活用機会をさらに広げるために」
 講師：桐山賢一校長先生
 【3】 おわりのことば（教頭先生）

【今日の研究会について】

夏休みに桐山校長先生から提案された「1人1台端末の活用のためのチャレンジシートの作成」を行い、2学期には実践をされていることと思います。また、活用の幅を広げるために「CHROME BOOKをつかってみよう！」のサイトも紹介していただきました。「かんたん」「ふつう」のコンテンツに分かれているので、段階をおって理解をすることができそうです……。きっと、できるはずです……。

しかし、日々の教科の教材研究に追われていたり、もともと苦手意識をもっていたりすると、なかなか「理解→指導→活用」することが難しいのではないのでしょうか。夏休みに行った「キックスタートプログラム」の研修会でも、得意な先生と苦手な先生とで理解に大きな差があるように思いました。

そこで、今回の校内研究会では、桐山校長先生を講師として、**どんどんチャレンジする「うさぎさんコース」とできることをふやしていく「かめさんコース」**に分かれて、プログラミング学習を中心とするコンテンツを使ったChromebookの活用方法を実践学習したいと思います。先生方には、ご自分に合うコースを事前に選択していただきました。

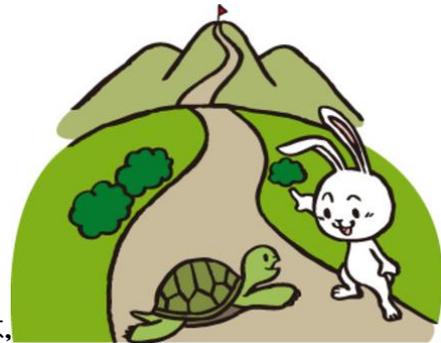
今日の研究会はプログラミングを中心にChromebookのいろいろな機能を知り、子ども達への指導に役立てる時間にしたいと思います。

<持ち物>

- ・Chromebook
- ・がんばる気持ち☆

【今日の流れ】

- ①4年1組 始めに研究会の流れについて話をします。
- ②「かめさんコース」(13人) 4年1組
 「うさぎさんコース」(7人) 4年2組 (うさぎさんは、
- ③4年1組 全体で終わりの会をします。(うさぎさんは、1組に移動してください)



かめさんコース (4年1組)	うさぎさんコース (4年2組)
五味教頭先生・乙黒先生・饗場先生・平出先生・相山先生・岩間先生・彩子先生・山下先生・小池先生・清水先生・一美先生・高鳥先生・村松	武居先生・宮川先生・藤巻先生・初鹿先生・加賀美先生・鈴木先生・浅利先生

第9回校内研究会

・場所, 時間 4-1・4-2・5-2教室 15:50～

今日的課題に対して, 実践的に学ぶ
教員の力量形成をめざして

- 【1】 今年度のふり返り 全体確認
【2】 ブロックに分かれて 来年度の方向性について

【今日の予定】

全体会(4年1組)→ブロックでの話し合い

冬休み中には, 今年度のふり返りや来年度についてのアンケートへのご協力をありがとうございました。先生方から出していただいた成果や課題を元に, 甲府市教育研究協議会へ「研究のあゆみ」をまとめさせていただきました。各研究会でのふり返りについては, 2月の校内研究会でまとめて提案します。

今日は, 来年度の研究会をどのように行ったらよいかを各ブロックで意見を出し合う会にしたいと思います。アンケートで先生方からいただいた意見を元にしながら, それぞれのブロックで話し合いをし, 来年度の方向性を見当をつけていく時間にしたいと思います。アンケートや先生方のご意見を踏まえて, 2月の研究会で方向性について提案をさせていただきますと思います。

【連絡】

①3学期のパワーアップ作戦について

職員会議でもお伝えしましたが, 3学期は2月6日(月)～2月12日(日)です。近くなりましたら, お知らせや表を配布します。転入生や紛失でファイルの追加がある場合はご連絡ください。

②ブロック分け

低学年ブロック	中学年ブロック	高学年ブロック
4-2	4-1	5-2
1・2年生の担任 乙黒先生 饗場先生	3・4年生の担任 校長先生 浅利先生 相山先生	5・6年生の担任 教頭先生 一美先生 平出先生
司会記録 1年生	司会記録 4年生	司会記録 5年生

<アンケート結果>

○来年度はどちらの形式で行った方がよいと思いますか。そのようにお考えになったのはなぜですか。

理由をお書きください。

仮説検証型	4人	<ul style="list-style-type: none"> • どちらも児童にかえていくものは大きいですが、じっくりと1年かけて児童の変容を見取る研究も大切だと考えます。 • 研究授業を行うとなると、「トピック型」では厳しいと思うから。ただし、「トピック型」は様々な学習ができるのでとても有効的。なので、理想とすれば「仮説検証型」を軸として、「トピック型」も併せたハイブリット方式を採った方がよいのではないかと思う。 • 仮説検証型をベースに研究を進める中で、先生方から挙がった課題を貯めて、翌年に課題解決トピック型を行うでもよいかと思いました。または、これだけはという課題解決トピック型を挟むというのもよいのではないかと思いました。 • (仮説検証型にしましたが)今年度のような課題解決トピック型だと、研究主任の先生に内容をお任せする形になってしまい負担を大きくかけると思う。今年度のようなスタイルではなく、研究授業を年間計画に入れ、それに向かって全員がブロックでどのような課題があるのか出し合い、適した講師を呼ぶというような流れでもよいのではないだろうか。また、児童がグーグルフォームの扱いに慣れてきたので、甲府スタイルについてのアンケートを取ったり、教師も授業を行う上で困っていることをアンケートに書いたりして、学校全体の課題を見つけ、それを解決するために実践を行うという流れにしてはどうだろうか。
課題解決トピック型	15人	<ul style="list-style-type: none"> • 楽しみながら研究(研修)できるから。 • 幅広い知識を得られると言う点でメリットがある。 • 理由は特にありません。必須回答だったので、どちらかといえばで回答しました。先生方の意向に沿います。 • 負担が少ない。 • 「今日的課題」に対して、全教職員で同じように考え指導していくことが大切だと思うので、研修をしながら課題の共有が図れる。 • 教育研究では、仮説は検証できないと感じているから。 • 課題解決トピック型の方が、タイムリーな課題に取り組むことができ、すぐに実践にいかせて良いと思う。 • すみません、どちらも良いです。授業を作り上げていく上で学ぶことも、他の先生の指導法なども学ぶことができ、とても有意義だと思います。また、今年度のように課題解決型で、たくさんの方面のことを学べるのもとても良かったです。私はパソコンがとても苦手なので、授業に生かせるパソコンも学びたいです。 • その時その時に困っていることや、知りたいことを指導して頂けるので、良い。 • 現在悩んでいる課題等、個人の実践にすぐ生かせることを学ぶ機会ができてありがたいです。 • 先生方が学びたいと思っていることや課題に感じていることがそれぞれ違うと思います。自分が知らなかったことを知る機会にもなるので課題解決トピック型が良いと思いました。 • 課題解決トピック型は柔軟性があり、今日的な課題にすぐに取り組み、明日に生かせるところが良いところだと思います。ただ、一つの授業を全員で検討し、授業のあり方を考え検証していくことも、大切であると感じました。甲府スタイルの授業を、ブロックで一つ実践してみると良いと思いました。 • 課題解決トピック型の校内研というのは初めてでしたが、3年ぶりの水泳指導、一人一台端末の活用など、今目の前にある課題を解決するような内容の校内研はとても有り難かったです。一人一台端末の活用についての研修のように、先生方と日頃の実践や課題等を共有できる時間はとても有意義で、必要な時間だと感じました。 • 今気になる課題を的確に取り上げてもらい、自分自身が勉強になるから。 • 計画することが大変だと思いますが、タイムリーな話題や必要なことを学べるので良いと思います。

○来年度の校内研究会で取り組んでみたい内容がありましたら、具体的に書いてください。

- 今年度と同じく指導案検討（研究授業）も行った方がよい。若い先生方には、勉強になると思います。
- ICTを手段（デジタルとアナログの併用の成果や課題を探りながら）としながら、何か仮説を立てて授業する。（具体的なテーマが思い浮かばず申し訳ありません。）
- 負担にはなりますが、授業を基盤とした研究は設定すべきだと思います。
- 私自身とてもパソコンが苦手なので、是非クロームブックを取り入れた授業やその方法を学んでいきたいです。とても学ぶことが多い校内研でした。
- 個人的にはクロームブックが苦手なのでいろいろな活用方法を学びたいです。
- 個人的には、道徳や国語などの授業をつくる際の考え方、どのように授業作りを行っているかについて等を知りたいです。（専門でやっている教授や先生に実践的なお話が聞けると嬉しいです。）
- クロームブックの活用方法
- 具体的に内容はありませんが、ぜひ授業を全員で検討したいです。校内研究は教員にとって多くの学びを得られる場だと思います。授業をしたり、検討したからこそ授業の見方・考え方というものが身につくと思います。多くの経験をお持ちの先生方から教わるチャンスでもあります。一つでもみんなが授業を検討できればよいなと思います。今年度も様々な内容を考え、計画して下さいありがとうございました。

○ブロックに分かれての話し合いの中で出された意見

（手書き・箇条書きで結構ですので、記録担当の先生は終了後村松にご提出ください。）

<記録メモ>

第10回校内研究会

- ・場所、時間 音楽室 15:50~16:50
- ・司会 村松 記録 教務

今日的課題に対して、実践的に学ぶ 教員の力量形成をめざして

- 【1】はじめのことば (司会)
- 【2】校長先生のお話
- 【3】今年度のふり返りと来年度の方向性について
- 【4】今年度のICTの活用について【実践の紹介】
(武居先生・初鹿先生・鈴木先生・浅利先生)
- 【5】おわりのことば (教頭先生)

【今年度のふり返り】

①研究会について

先生方には、年末年始のお忙しい中、今年度の校内研究会についてふり返りをしていたいただき、ありがとうございました。先生方からたくさんのご意見や感想をいただきました。「共有フォルダ」→「□校内研究」→「令和4年度」→「令和4年度まとめアンケート」にすべてのご意見が一覧になっています。時間に余裕があるときにご覧ください。

【第2回 水泳指導】

「コロナ禍になって初めての水泳指導で、児童も水泳の基礎を知らない中での指導となりました。」また、若い先生方にとっても初めての、他の先生方にとっても久しぶりの水泳指導であったので、「水泳の研修会を開催したこと自体に大きな意義があると感じました。」「具体的でとても分かりやすく、すぐに実践で生かせる有意義な研修会となりました。」まさに、今日的課題に即した研修会となりました。

【第4回 Kickstart Program アドバンス研修】

アドバンス研修は、本来ならばコア研修を受けてから受講することになっていましたが、相川小学校ではChromebookの活用を早い段階から行ったり、実践に使いこなす先生方が多かったことから、アドバンス研修をお願いしました。(甲府市内では、1校のみの受講だったようです。)
「難しかった・・・。分からないことが分かった。」という先生方と「実際にクラスのホームページを作って子供に見せたら喜んでくれた。」「2学期以降の授業に生かすことができた。」という2極のふり返りがありました。

【第5回 学級経営に生かす教育相談】

山梨県の3つの指導重点を貫くものとして『学級経営の充実』が位置付けられています。「教科指導を行う上でも学級経営は重要なので、有意義な話が聞けたと思う。」「自信の学級経営を見直すよい機会になった。」「Q Uを生かした学級経営のあり方などについて幅広く教えていただきとても勉強になった。」と、子供たちの心に寄り添う方法や自分の子供への向き合い方をふり返ることができる研修会となりました。

【第6回 指導案検討】

3年ぶりとなる指導案検討の時間を設けました。

- ・課題解決トピック型の校内研が続いていたので、指導案の練り上げの校内研の重要性を感じた。
- ・来年度以降は、指導案検討→授業観察→研究会という流れでぜひ行いたい。

- ・負担になるとは思いますが、授業を元にした研究会を大切にしたいと感じました。
 - ・2年生の指導案検討により、1年生の学習内容が2年生でどのようにつながっているのか、改めて分かり、指導の際に気をつけようと思いました。
 - ・授業者やその学年の先生方の負担が大きいように感じ、申し訳なかった。
- 上記のようなふり返りが多数ありました。負担は出てきてしまいますが、やはり授業力を上げるためにも、学習内容の系統性を知るためにも、全体で指導案を練ったり、観察し合ったり、ふり返ったりする機会は大切だと思います。今年度は、指導案検討をするだけであとは授業する先生方にお任せする形になってしまい、申し訳ありませんでした。

【第7回 主体的・対話的で深い学びの実現と学力向上～算数の学習を中心として～】

最前線で活躍されている先生を招聘することができました。「算数科でどのように指導すべきか悩んでいたところをしっかりと解決することができた。」「教師の意図のもと、子供主体の授業にすることや動き出したくなる課題の設定の大切さなど日々の生活に生かせる研修でした。」「算数の授業の組み立ては、どの教科にも当てはまり、授業の基礎だと考えている。授業作りを中心に全員で一つの単元を考えてご指導いただきたい。」と、日々の授業をふり返る有意義な研修会となりました。

【第8回 1人1台端末の活用機会をさらに広げるために】

夏休みのアドバンス研修会での様子から、うさぎさんコースとかめさんコースに分かれて、校長先生に講義していただきました。「先生方のレベルに合った方法でよかった。」とのふり返りが多かったです。かめさんにとっては、「苦手な教員にとっては、各自での確認に消極的になってしまうので、校内研で時間を確保してもらえてよかった。」うさぎさんにとっては、「先生方と活用方法を交流することで、使用の幅が広がった。」とのふり返りがありました。個人差が大きな内容なので、グループ分けを工夫して研修を行うこともよいと思いました。

②パワーアップ作戦について

今年度は2回の実施でしたが、1学期の間に教員間の共通理解を図ったり、内容の見直しをしたりすることができました。ご協力ありがとうございました。

- ・各学年の実態に応じた見直しがあり、発達段階に沿った細かな改善点も出てきて有効だった。(多数)
- ・今後も継続していただきたいと思います。
- ・学習面と生活面の両方のチェックができて良かったです。
- ・じっくりと内容を吟味する時間があったので、学年に合った内容のものになったと思う。毎年でなくとも、隔年に一度見直す時期があってもよいと感じた。
- ・子供にも説明がしやすく、わかりやすかったです。
- ・児童にとってより実践的で、意義のあるカードに改善されたと思います。
- ・時勢に沿った定期的な改善が有効だと感じていたので、良かった。
- ・内容、実施時期ともに見直され、児童にとっても教員にとっても分かりやすいものになったと思う。来年度も継続できればよい。

【来年度の方向性（今年度のまとめより）】

第9回の校内研究会の中で、先生方から回答していただいたアンケートを基に、各ブロックに分かれて話し合いを行っていただきました。以下が、その中で出された意見です。

<低学年>

◎甲府スタイル+ICT (Chromebookを中心に) を加えて授業を考える

- ・甲府スタイルに絞って、負担にならない程度だけれど勉強も必要なので、夏休みに指導案検討を行ったらどうか。
- ・直接関係がなくても、お笑いや住職など様々な分野の講師を呼ぶのもいいのではないか。

<中学年>

◎「甲府スタイル」を基盤として、ICTを手段とした授業にしたらよいのではないか。

- ・授業を見て（見られなければ後日動画で）、成果や課題を検討する。
- ・外国語専科が増加する傾向はないので、外国語について学ぶ機会があったらどうか。

<高学年>

- ◎校内研究会は授業にシフトし、その中にICTや特支など今日的な課題に合わせた課題解決トピック型を数回入れる。(ハイブリット方式)
- ・指導案は様々な先生から意見をもらって練り上げていくものなので、1回作って出したら終わりではなく、何回も検討し練り上げるための時間が必要。
- ・「指導案作り→練り上げ→授業→反省点を出しさらによいものに」の形をつくるために、『目指す授業の形』を明確にしたい。(甲府スタイルのどこかに焦点・本校の子供たちの課題)

どのブロックからも、

- ・「甲府スタイル」を基盤として行う
- ・指導案検討をすることが大切
- ・検討だけで終わらずに、授業を参観してお互いの力量を高めることが大切
- ・ICTを活用・研修したい、また、することが大切

という意見が出されました。ここ3年間、授業を見合ったり、指導案を検討したりするという研究会が行われてきましたが、「教員の力量形成をめざす」上で、授業を見たり、検討したりすることの重要性を多くの先生方が感じています。

来年度は、上記のような内容を中心に取り組みを考えていくとよいと思います。

【来年度の方向性（来年度への申し送り事項）】

2月上旬に、校長先生から「小・中・高等学校を通じた英語教育強化事業」が令和5年4月1日～令和7年3月31日の2カ年計画で実施されることのお話がありました。事業内容の概要として特に、

「学校種間連携の強化（相川小学校・北東中学校）」

に重きを置いて、外国語科・外国語活動の実践に取り組むことになるようです。また、研究の見通しとして、

- ①小学校から中学校へのなめらかな接続を実現する教育課程の編制
- ②編制した教育課程に沿った外国語科・外国語活動の実践
- ③小学校・中学校の合同研究・研修会（夏季研修会）
- ④成果物や授業撮影動画のオンラインでの配信
- ⑤研究発表会での発表

が示されています。

校長先生からは、今回の事業を拝受するにあたって、他の教育活動と同程度の熱量で外国語教育に取り組み、一人一人の児童を大切に作る学級経営を最重視した学校経営を継続したいとお考えが提示されました。

「来年度から始まる英語教育強化事業」と「今年度のまとめによる来年度の方向性」から、「外国語科・外国語活動の授業を中心とした指導案の検討・研究授業」や「ICTを活用した研究授業」などが考えられます。来年度の校内研究会の参考にいただければと思います。

1年間の校内研究会へのご協力をありがとうございました。

【今年度のICTの活用について（実践紹介）】

第8回の校内研究会では、「一人一台端末の活用機会をさらに広げるために」と題して、桐山校長先生を講師として研修会を行いました。「うさぎさんコース」は和気あいあいと、「かめさんコース」は無理なく楽しく研修会を行うことができました。

最後の研究会では、「うさぎさんコース」から4人の先生方に、今年度Chromebookを活用してどのような授業を行ったのか、どうしたら「かめさん」も実践できるかを紹介していただきたいと思っています。これからの活用に生かせるようにしていきたいと思っています。

【研究同人】

校長	桐山	賢一	3年	山下	英子
教頭	五味	正樹	3年	藤巻	良輔
教務主任	乙黒	誉雅	4年	村松	宏美 (研究主任)
			4年	初鹿	貴大
教務	小澤	一美	5年	小池	牧
教務	浅利	佳歩	5年	秋山	瑞穂
特支	饗場	公子	6年	清水	みゆき
特支	平井	規昭	6年	鈴木	基生
特支	相山	真佐美	養教	高鳥	隆子
特支	石川	麻衣	事務	小田切	昌江
1年	岩間	直子	司書	芦澤	彩
1年	武居	菜生	学習指導員	大森	聖子
2年	小澤	彩子	学習指導員	中澤	佳奈
2年	宮川	桃香	スクールサポートスタッフ	狩野	久美子

本研究を行うにあたって御指導，御支援を賜りました，山梨県教育委員会・山梨県総合教育センター・山梨大学・甲府市教育委員会・戸澤智紀先生・日本学校教育相談学会・Kickstart Program 事務局の皆様から感謝を申し上げます。